

2021年9月期第2四半期決算

MRI 三菱総合研究所

2021年4月28日

50th
Anniversary

この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

1 2021年9月期第2四半期決算

2 2021年9月期業績予想

3 トピックス

2021年9月期 第2四半期のまとめ

- 「中計2023」のスタート順調、売上高・営業利益(⇒P4)ともに上期過去最高
- 新型コロナウイルスの影響(民間下振れ)は、官公庁・金融・カードで打ち返し

売上高: 523億円 前同比 +40.8億円

- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC): 官公庁がけん引、大幅増収(+28億)
- ITサービス(ITS): 金融・カード伸長で増収(+12億)

経常利益: 64.6億円 前同比 Δ 7.6億円 実力+5.6億円

- 実力ベースでは+5.6億 (前期一時的要因(持分法投資利益計上) 約13億)

純利益: 41.4億円 前同比 Δ 23.2億円 実力+2.7億円

- 実力ベースでは+2.7億 (前期一時的要因(特別利益計上) 約27億)

第2四半期連結決算 <前同比>

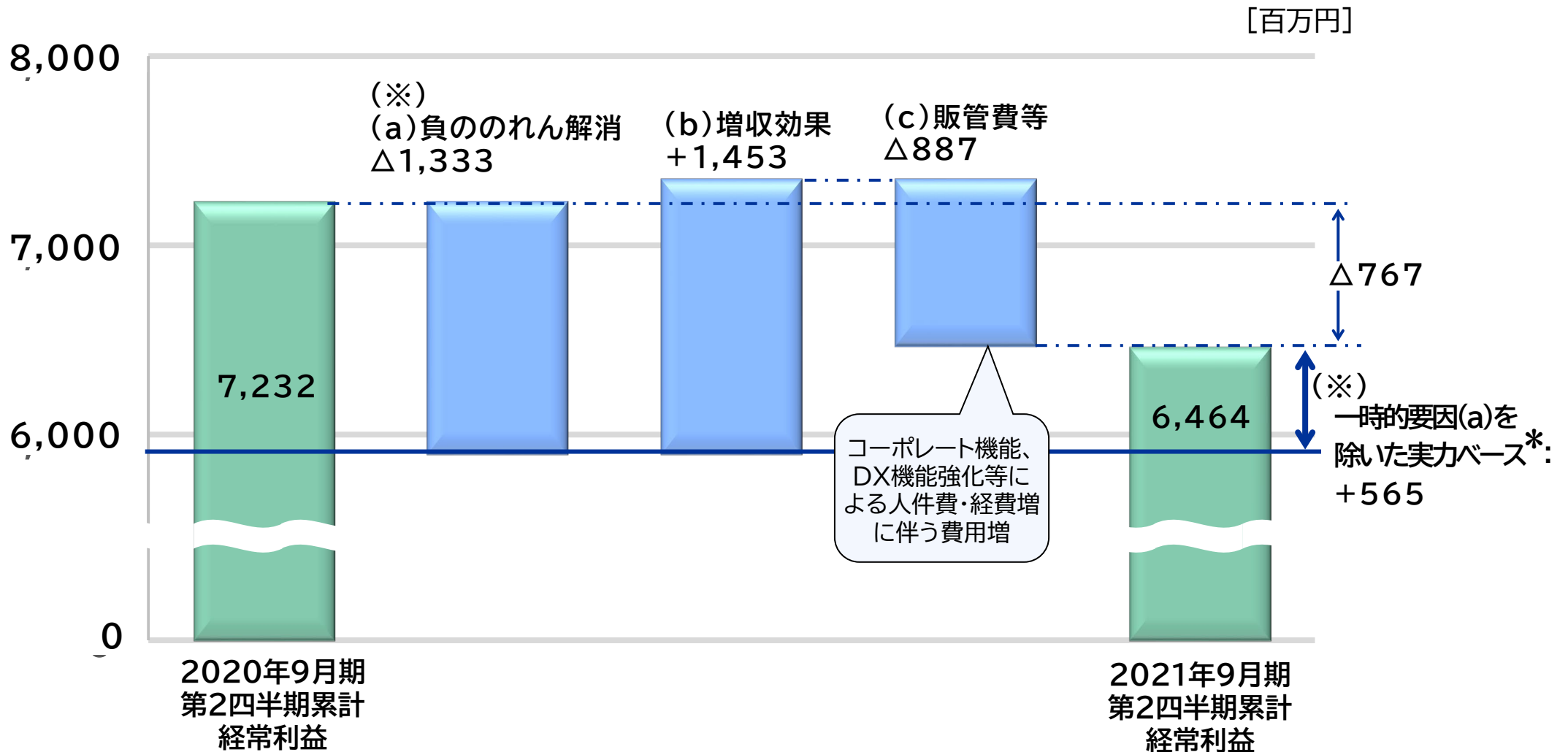
(百万円)

	2020年9月期 2Q累計	2021年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	48,246	52,328	+4,082	+8.5%
売上総利益	12,647	14,100	+1,453	+11.5%
売上総利益率	26.2%	26.9%	+0.7P	
販売費及び一般管理費	7,145	7,974	+829	+11.6%
営業利益	5,502	6,126	+623	+11.3%
営業利益率	11.4%	11.7%	+0.3P	
経常利益	7,232	6,464	△767*	△10.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,466	4,141	△2,325*	△36.0%
1株当たり四半期純利益(円)	397.97	254.81	△143.16	

※前期一時的要因を除いた実力ベースでは、経常利益前同比+565百万円、純利益+275百万円

経常利益の変動要因 <前同比>

- 増収効果(b)で経費増(c)を吸収し、実力ベースでは5億増*



シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2020年9月期 2Q累計	2021年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	17,963	20,803	+2,839	+15.8%
営業利益	3,462	4,009	+546	+15.8%
営業利益率	19.3%	19.3%	△0.0P	
経常利益 (実力ベース)	5,058 (3,725)	4,265	△792 (+540)※	△15.7% (+14.5%)
受注高	20,256	28,072	+7,815	+38.6%
受注残高 (内 来期繰越)	28,600 (12,498)	38,364 (20,120)	+9,764 (+7,621)	+34.1% (+61.0%)

主なポイント

- 官公庁向け大幅増、金融向けコンサル案件増で増収
- 営業利益は過去最高、※経常利益は実力ベースで+5億（除く前期一時的利益13億円）
- 官公庁案件受注好調に伴い、受注高・受注残高とも過去最高水準
- 受注残高には来期以降売上の繰越分201億(前同比+76億)を含む

ITサービス(ITS)

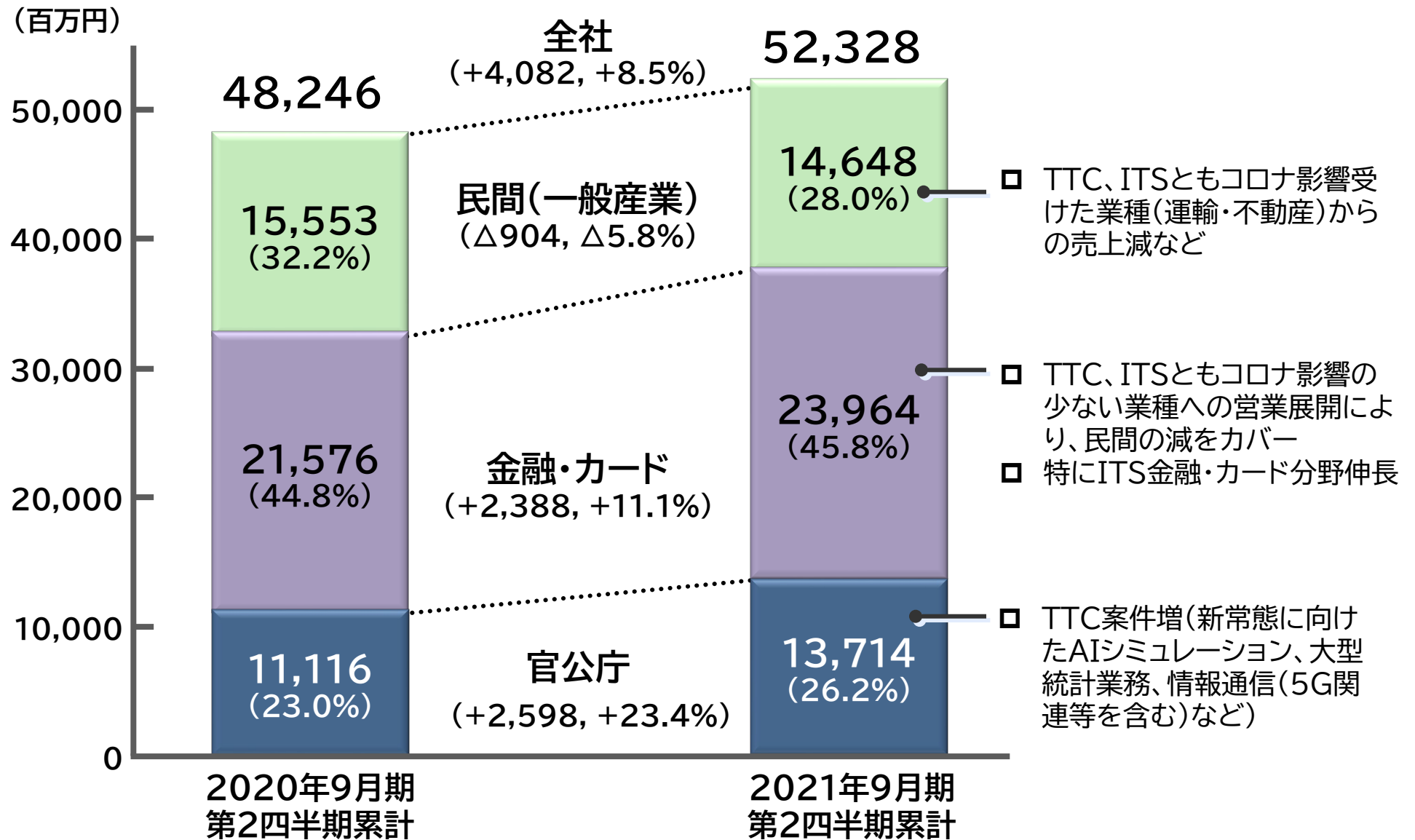
(百万円)

	2020年9月期 2Q累計	2021年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	30,282	31,524	+1,242	+4.1%
営業利益	2,036	2,114	+77	+3.8%
営業利益率	6.7%	6.7%	△0.0P	
経常利益	2,171	2,197	+26	+1.2%
受注高	31,205	36,276	+5,071	+16.3%
受注残高 (内 来期繰越)	41,296 (18,579)	47,188 (21,962)	+5,891 (3,383)	+14.3% (+18.2%)

主なポイント

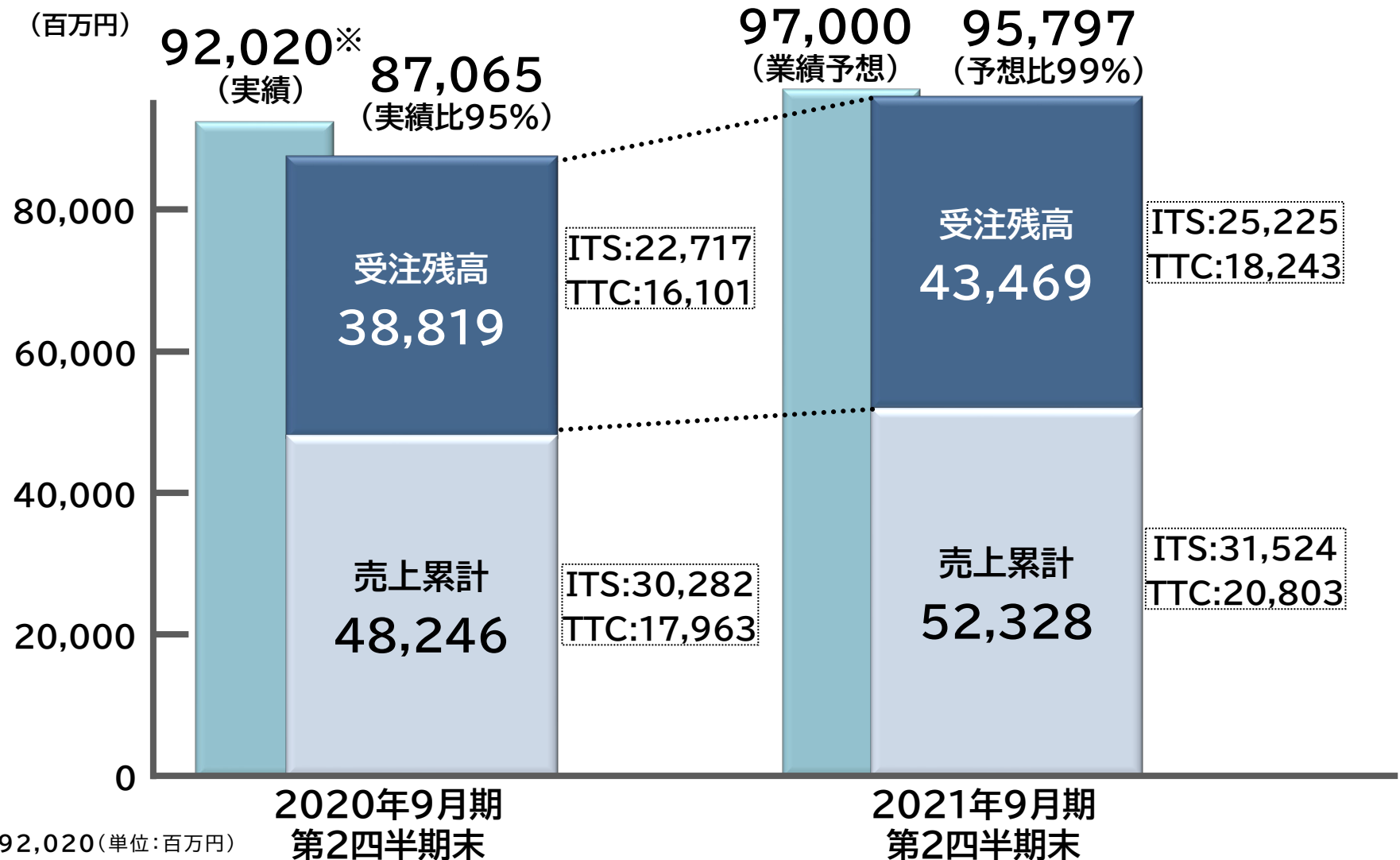
- 金融・カード分野の伸長により、増収・増益
- 営業利益は過去最高、DX等で先行投資行いながらも利益率維持
- 金融・カード分野の受注好調に伴い、受注高・受注残高とも増加
- 受注残高には来期以降売上の繰越分219億(前同比+33億)を含む

顧客業種別売上高 <前同比>



受注残高(今期売上)

- 今期業績予想の99%を確保(売上累計+今期売上分の受注残高)

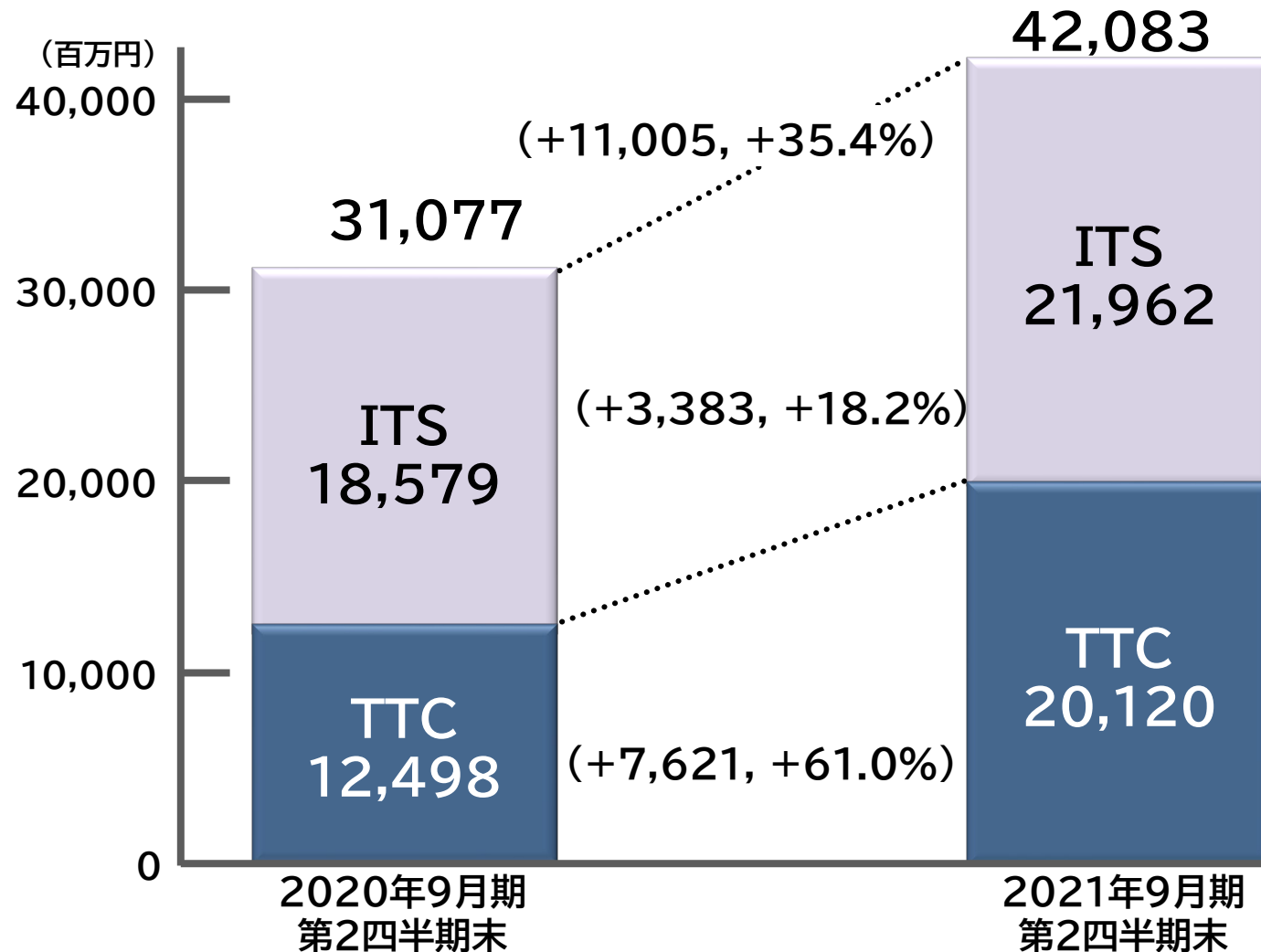


※誤記訂正(2021/7/9)

(誤)90,029 → (正)92,020(単位:百万円)

受注残高(来期繰越)

- 「中計2023」に沿った社会課題解決、DX案件などで着実な成果、来期を展望し順調な展開
- 金融・カード分野のシステム案件や、ポストコロナを見据えたAIシミュレーション業務など、来期売上見込みの大型案件の受注実績が積み上がり、繰越受注残高は前同比+110億



- 1 2021年9月期第2四半期決算
- 2 2021年9月期業績予想
- 3 トピックス

2021年9月期 連結業績予想

期初予想から変更なし

通期業績予想は据え置き

- 上期業績は、売上・利益とも順調
- 受注も順調な積み上がり
- 通期業績は、上振れ要因はあるものの以下を勘案し据え置き
 - ・来期繰越業務に重点シフト
 - ・持続的成長に向け、「中計2023」に沿い先行投資実施等

新型コロナウイルスによる業績影響

- 新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言等による業績影響は限定的
- 一部民間企業(運輸・不動産)に下振れリスクあるものの、官民ともに感染予防、ポストコロナに向けた引き合いや受注は好調

2021年9月期 連結業績予想

期初予想から変更なし

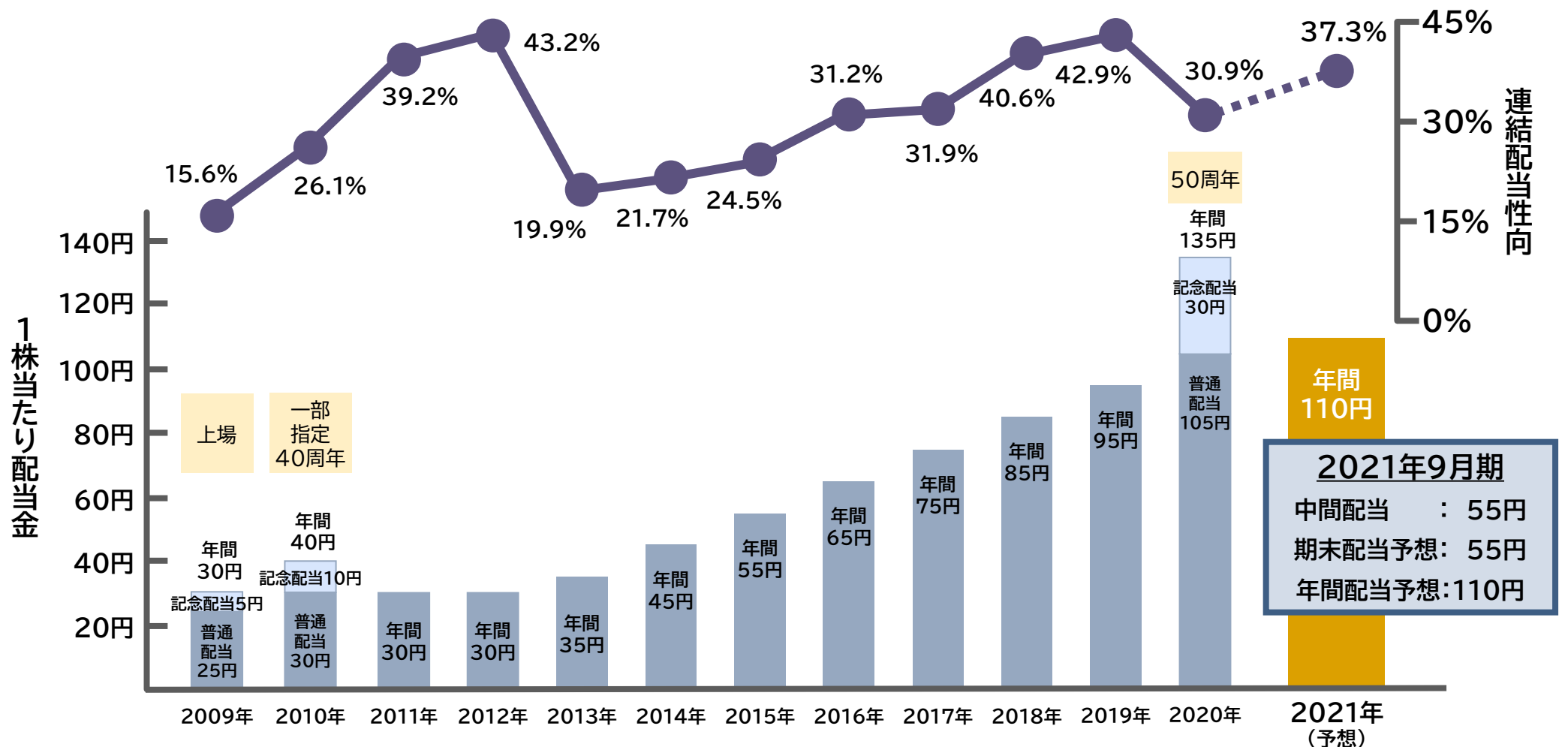
(百万円)

	2020年 9月期実績	2021年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	92,020	97,000	+4,980	+5.4%
シンクタンク・コンサルティング サービス	34,581	36,000	+1,419	+4.1%
ITサービス	57,438	61,000	+3,562	+6.2%
営業利益	6,231	6,600	+369	+5.9%
営業利益率	6.8%	6.8%	+0.0P	
経常利益 (前期の一時的要因除く実力ベース)	8,387 (7,000)	7,500	△887 (+500)	△10.6% (+7.1%)
シンクタンク・コンサルティング サービス	5,283	4,100	△1,183	△22.4%
ITサービス	3,092	3,400	+308	+10.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,096	4,800	△2,296	△32.4%
1株当たり当期純利益(円)	436.64	295.30	△141.34	

2021年9月期 配当予想

配当方針

継続的な安定配当を基本に、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げに努める



- 1 2021年9月期第2四半期決算
- 2 2021年9月期業績予想
- 3 トピックス

トピックス

【MRI】:社会課題解決に向けた案件への取り組み進捗

『ポストコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に向けた調査研究業務』を受注

感染防止策と経済活動の両立を図るための研究開発を、さまざまな研究者・団体等と協働して実施

- AI等を活用した感染拡大の早期探知などに係るデータ収集・分析やシミュレーション
- 感染防止対策に役立つ新しい技術の開発



【DCS】:ストック型のサービス展開伸長

ミライコンパス(miraicompass)



- 受験(中学、高校)におけるインターネットでの出願サービス
- 出願期間中、インターネット環境(PC、スマートフォン、タブレット端末)による出願申込や、受験料のクレジットカードなどによるオンライン決済可能
- 私立校全体の約4割(900校超・利用者約70万人)の導入実績、公立校へ導入拡大
- 学費収納といった提供サービスの拡充も継続的に実施

トピックス:最近のリリース(DX関連)

日付	タイトル
【MRI】	
2021.4.28	<u>大丸有地域のSDGsアクションの実証に参加、地域通貨サービスを提供</u>
2021.4.8	<u>仏ForePaaS社と業務資本提携</u>
2021.3.10	<u>沿線居住者向け都市型MaaSの実証実験を西宮市域で実施</u>
2021.3.10	<u>地域課題解決型デジタル地域通貨サービスを提供開始</u>
2021.2.24	<u>Exestと地方テレビ局の映像資産で地域活性化を共同支援</u>
【DCS】	
2021.2.25	<u>エンカレッジ・テクノロジーとの協業により2021年3月よりシステム管理者向けテレワークソリューション「特権アクセスゲート」を提供開始</u>
2021.2.24	<u>多要素認証サービス「FQ-MA」と電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」が連携開始</u>
2021.1.13	<u>ERPパッケージ「Biz J®(ビズインテグラル)」の導入サービス提供開始</u>

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : <http://www.mri.co.jp/>

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所